

## 自主防災組織のリーダー育成研修プログラム例（素案） ～ リーダー向け基礎知識編＋住民の自助促進編～

## 【本研修プログラムのねらい】

- 本研修プログラムは、自主防災組織のリーダーを対象とした教育・訓練カリキュラムの学習項目から、結成しはじめの段階や長期にわたり実質的な活動が行われていない自主防災組織のリーダー又はリーダーとなろうとする方を念頭に、必要と考えられる学習項目を選定・再編し、2日間の研修プログラムとして作成したものである。
- 1日目に実施する「リーダー向け基礎知識編」は、地域で自主防災活動に取り組むに際して最低限必要と考えられる基礎的な知識を学習することをねらいとして作成したものである。
- 2日目の「住民の自助促進編」は、家具の固定や水、食料の備蓄など、地域住民がそれぞれ自助の取組を行うことが災害の被害の発生防止や軽減につながることから、自主防災組織が地域の自助の取組を促すための研修プログラムとして作成したものである。

## ○1日目（リーダー向け基礎知識編）

ワークショップ・演習可

カリキュラム		単元	単元の学習項目 (大項目)	単元の学習項目 (中項目)	各単元の学習内容 (学習項目の概要)	所要(分)		備考	
単元	時間					詳細	計		
開講	9:15～ 9:30	オリエンテーション	1	挨拶		5	15		
				2 開催趣旨・スケジュール確認	研修会の開催趣旨と研修全体スケジュールを説明	10			
1限目	9:30～ 10:40	地域づくりと自主防災活動の必要性	1	1 地域を理解する	障がい者、外国人など地域で生活する多様な住民の存在を理解し、その多様性を尊重しながら互いに協力しあう地域社会を構築する必要性について学ぶ。	15	15		
				2 地域づくりと防災	自主防災活動は、例えば地域の祭りや連携した防災に関する取組や防災を核とした住みやすい地域社会を目指す各種団体との連携などにより、地域の結びつきの希薄化、地域コミュニティの脆弱化など、現代の地域社会が抱える課題を解決する糸口となるものであることを学ぶ。	15			
				2 自主防災活動の必要性	自主防災活動の必要性(自助、共助の重要性など)について学ぶ。	10			
				2 自主防災組織の役割、運営体制	地域に密着した防災組織である自主防災組織の目的、役割、組織の機能及び体制、主要な活動内容等について学ぶ。	20			
				3 地域防災を推進する主体	消防団、女性防火クラブ、民生委員・児童委員、社会福祉協議会等、地域で防災活動に携わる多様な主体の存在やその役割等について理解するとともに、それぞれの特徴や強み等を理解の上、互いに連携・協力しながら地域防災活動を進めることの重要性について学ぶ。	10			
				2 自主防災組織概論(一部、地域の防災リーダーの役割)					
休憩	10:40～ 10:50					10	10	-	
2限目	10:40～ 12:00	地域防災リーダーの役割	1	1 地域の防災リーダーの役割	自主防災組織の代表や代表を支え防災活動の中心となる者が組織の防災リーダーとして果たす役割、その活動内容、リーダーシップ(指導スタイル)のあり方、リーダーがその活動中に抱えるストレス等について学ぶ。	20	70	コミュニケーション上のポイントや留意点を検討・整理	
				2 地域防災を担う人材の発掘・育成	多数の住民に自主防災活動への参加を促し、活動を展開していくために、住民とのコミュニケーションの図り方(傾聴、会話、調整)や、地域の防災に関する人材の発掘方法などについて学ぶ。また、自主防災活動を長期にわたり継続していくため、次代を担うリーダーを発掘し、育成していくことの重要性について学ぶ。	35			
				3 防災と男女共同参画	実災害の事例や日常の防災活動の現状を通じ、男女共同参画の視点からの防災対策の必要性について学ぶ。また、地域防災活動における男女共同参画の視点による具体的な取組事例について学ぶ。	15			
昼休み	12:00～ 13:00					60	60	-	
3限目	13:00～ 14:10	地域の災害危険性	1	1 地域の災害危険性	自分たちの地域の地理的特性(地形(急傾斜地、低地など)、地盤の軟弱性、活断層の有無、災害危険箇所の有無)や社会的特性(木造密集地域、高層住宅立地地域、社会福祉施設所在地域等)などから、地域に潜在する災害危険性について学ぶ。	15	70	防災マップ等を活用し、地域に生じる被害をイメージ	
				2 各種災害の被害想定等	被害想定結果やハザードマップ等の活用により、自分たちの地域(まち)で発生が懸念される災害とその被害や影響について学ぶ。	45			
				3 今後発生しうる主な大規模災害	今後発生が懸念されている南海トラフ巨大地震、首都直下地震などの大規模地震や、大規模風水害、火山災害等が発生した場合に想定される被害、防災上の課題と対策について学ぶ。	10			
休憩	14:10～ 14:20					10	10	-	
4限目	14:20～ 15:00	防災力向上のための今後の取り組み	1	(ふりかえり)	1 地域で進める防災対策の立案	研修を通じて得た知識やスキルをもとに、地域の防災力を高めるためにどのような取り組みをしていくべきか検討整理し、発表する。	40	40	
-	15:00	終了	1	-	1 挨拶・連絡事項				

○2日目(住民の自助促進編)

ワークショップ・演習可

カリキュラム		単元	単元の学習項目 (大項目)		単元の学習項目 (中項目)		各単元の学習内容 (学習項目の概要)	所要(分)		備考
単元	時間		1	2	1	2		詳細	計	
開講	9:25～ 9:30	オリエンテー ション	1	—	1	スケジュール確認	本日の研修スケジュールを説明	5	5	
1限目	9:30～ 11:00	我が家の安全 確保と災害へ の備え	1	災害に対す る備え	1	事前の備え	非常用持出品、備蓄品などあらかじめ備えておくべきこと、家族間の連絡方法(集合場所、災害伝言ダイヤル(NTT提供)の利用方法)や避難する先など、家庭であらかじめ備えておくべきことについて学ぶ。	50	90	チェックリストを用いて、備えの状況を確認
					2	我が家の安全対策	家具の転倒防止、食器類等の落下防止、寝室の安全対策、プロパンガスボンベ固定の補強、塀の補強、ガラスの飛散防止、消火器の定期点検など、我が家の安全性を高める方法について学ぶ。	20		チェックリストを用いて、我が家の防災対策状況を確認
					3	我が家の耐震対策	耐震診断や耐震補強の必要性と簡易な診断で我が家の耐震性を確認する方法や耐震化の具体的な方法を学ぶ。	20		チェックリストを用いて、建物の耐震性を確認
休憩	11:00～ 11:10	—						10	10	—
2限目	11:10～ 12:00	地域における 自助の促進	1	地域住民の 防災活動の 促進	1	住民の役割	過去の事例から、災害時に住民が果たすべき役割と近隣住民どうしの連携による活動が必要とされていることを学ぶ。 また、円滑な連携を可能にするための日ごろからの交流のあり方を学ぶ。	15	50	
					2	防災知識の普及・啓発	市区町村等から発行される防災啓発パンフレット等を通じて、防災知識の普及啓発活動の目的や内容について理解するとともに、地域の住民への防災知識の普及・啓発の方法(チラシの作成・配布、防災講話やワークショップの開催など)について学ぶ。	35		
昼休み	12:00～ 13:00	—						60	60	—
3限目	13:00～ 14:20	自助促進のた めの企画	1	(ふりかえり)	1	研修の企画と募集チラシ づくり	研修を通じて得た知識やスキルをもとに、地域で自助の普及促進を図るための研修を企画し、募集チラシ案の作成を行う。	50	80	
					2	発表・意見交換会	企画内容の発表と全体での意見交換を行う	30		
閉講	14:20～ 14:30	閉講式	1	—	1	閉講挨拶・連絡事項	—	5	5	

自主防災組織のリーダー育成研修プログラム例（素案） ～ リーダー向け基礎知識編＋土砂災害警戒区域等の避難対応編～

【本研修プログラムのねらい】

- 本研修プログラムは、自主防災組織のリーダーを対象とした教育・訓練カリキュラムの学習項目から、結成しはじめの段階や長期にわたり実質的な活動が行われていない自主防災組織のリーダー又はリーダーとなろうとする方を念頭に、必要と考えられる学習項目を選定・再編し、2日間の研修プログラムとして作成したものである。
- 1日目に実施する「リーダー向け基礎知識編」は、地域で自主防災活動に取り組むに際して最低限必要と考えられる基礎的な知識を学習することをねらいとして作成したものである。
- 2日目の「土砂災害警戒区域等の避難対応編」は、近年、大規模な洪水や土砂災害が毎年全国各地域で多発しており、地域をあげて住民の避難行動を考える必要性が高まっていることから、地域特性に応じた実践型研修プログラムとして、土砂災害警戒区域等の住民の避難対応編として作成したものである。
- 単元毎の時間はあくまで目安として示したものであり、必要に応じて延長・短縮して実施するなどして活用していただきたい。

○1日目（リーダー向け基礎知識編）

ワークショップ・演習可

カリキュラム		単元	単元の学習項目 (大項目)	単元の学習項目 (中項目)	各単元の学習内容 (学習項目の概要)	所要(分)		備考
単元	時間					詳細	計	
開講	9:15～ 9:30	オリエンテーション	1	1 挨拶		5	15	
				2 開催趣旨・スケジュール確認	研修会の開催趣旨と研修全体スケジュールを説明	10		
1限目	9:30～ 10:40	地域づくりと自主防災活動の必要性	1 地域を理解する	1 地域における多様性と共生社会	障がい者、外国人など地域で生活する多様な住民の存在を理解し、その多様性を尊重しながら互いに協力しあう地域社会を構築する必要性について学ぶ。	15	15	
				2 地域づくりと防災	自主防災活動は、例えば地域の祭りや連携した防災に関する取組や防災を核とした住みやすい地域社会を目指す各種団体との連携などにより、地域の結びつきの希薄化、地域コミュニティの脆弱化など、現代の地域社会が抱える課題を解決する糸口となるものであることを学ぶ。	15		
				1 自主防災活動の必要性	自主防災活動の必要性(自助、共助の重要性など)について学ぶ。	10		
				2 自主防災組織の役割、運営体制	地域に密着した防災組織である自主防災組織の目的、役割、組織の機能及び体制、主要な活動内容等について学ぶ。	20		
			2 自主防災組織概論(一部、地域の防災リーダーの役割)	3 地域防災を推進する主体	消防団、女性防火クラブ、民生委員・児童委員、社会福祉協議会等、地域で防災活動に携わる多様な主体の存在やその役割等について理解するとともに、それぞれの特徴や強み等を理解の上、互いに連携・協力しながら地域防災活動を進めることの重要性について学ぶ。	10		
休憩	10:40～ 10:50				-	10	10	-
2限目	10:40～ 12:00	地域防災リーダーの役割	1 地域の防災リーダーの役割	1 地域の防災リーダーの役割	自主防災組織の代表や代表を支え防災活動の中心となる者が組織の防災リーダーとして果たす役割、その活動内容、リーダーシップ(指導スタイル)のあり方、リーダーがその活動中に抱えるストレス等について学ぶ。	20	70	コミュニケーション上のポイントや留意点を検討・整理
				2 地域防災を担う人材の発掘・育成	多数の住民に自主防災活動への参加を促し、活動を展開していくために、住民とのコミュニケーションの図り方(傾聴、会話、調整)や、地域の防災に関する人材の発掘方法などについて学ぶ。また、自主防災活動を長期にわたり継続していくため、次代を担うリーダーを発掘し、育成していくことの重要性について学ぶ。	35		
				3 防災と男女共同参画	実災害の事例や日常の防災活動の現状を通じ、男女共同参画の視点からの防災対策の必要性について学ぶ。また、地域防災活動における男女共同参画の視点による具体的な取組事例について学ぶ。	15		
昼休み	12:00～ 13:00				-	60	60	-
3限目	13:00～ 14:10	地域の災害危険性	1 地域の災害危険性と被害想定	1 地域の災害危険性	自分たちの地域の地理的特性(地形(急傾斜地、低地など)、地盤の軟弱性、活断層の有無、災害危険箇所の有無)や社会的特性(木造密集地域、高層住宅立地地域、社会福祉施設所在地域等)などから、地域に潜在する災害危険性について学ぶ。	15	70	防災マップ等を活用し、地域に生じる被害をイメージ
				2 各種災害の被害想定等	被害想定結果やハザードマップ等の活用により、自分たちの地域(まち)で発生が懸念される災害とその被害や影響について学ぶ。	45		
				3 今後発生しうる主な大規模災害	今後発生が懸念されている南海トラフ巨大地震、首都直下地震などの大規模地震や、大規模風水害、火山災害等が発生した場合に想定される被害、防災上の課題と対策について学ぶ。	10		
休憩	14:10～ 14:20				-	10	10	-
4限目	14:20～ 15:00	防災力向上のための今後の取り組み	1 (ふりかえり)	1 地域で進める防災対策の立案	研修を通じて得た知識やスキルをもとに、地域の防災力を高めるためにどのような取り組みをしていくべきか検討整理し、発表する。	40	40	
-	15:00	終了	1	1 挨拶・連絡事項	-			

○2日目(土砂災害警戒区域等の避難対応編)

ワークショップ・演習可

カリキュラム		単元	単元の学習項目 (大項目)		単元の学習項目 (中項目)		各単元の学習内容 (学習項目の概要)	所要(分)		備考
単元	時間		1	2	1	2		詳細	計	
開講	9:25～9:30	オリエンテーション	1	—	1	スケジュール確認	本日の研修スケジュールを説明	5	5	
1限目	9:30～10:40	土砂災害からの避難と避難に関する情報	1	発災直前・直後の対応	1	災害時にとるべき対応	地震災害や風水害等、災害発生直後から時間を追った形での行動・対応の流れ、行動する上で注意すべきことや配慮すべきことなどを学ぶ。	10	70	
					2	避難に関する情報	気象に関する予警報や緊急地震速報、避難勧告等の避難情報を入手する方法、情報の読み方、情報に基づく基本的な行動について学ぶとともに、避難に関する情報を活用するためのスキルを身につける。	30		
					3	情報収集・伝達	地域の災害対応に必要な情報の収集・伝達方法について学ぶとともに、情報の収集・伝達に必要なスキルを身につける。	30		
休憩	10:40～10:50	—						10	10	—
2限目	10:50～12:00	安全な避難と避難体制確保	1	発災直前・直後の対応	1	安全な避難	安全な避難先や避難路の選定方法、避難の方法、地域における避難誘導や避難支援の方法について学ぶとともに、避難行動要支援者を含め、地域住民の安全な避難行動に必要なスキルを身につける。	40	70	防災マップ等を用いて、避難先と避難経路を検討。避難行動上のポイントを整理。
					2	災害発生に備えた体制の構築	災害時に地域で収集・伝達すべき情報の情報の種類や内容、災害時における課題、体制づくりの必要性について学ぶ。また、あらかじめ地域における情報収集・伝達のための体制構築の方法、円滑に行うためのマニュアル作成や実行性を高めるための訓練の方法について学ぶ。	20		
					3	地域住民の防災活動の促進	過去の事例から、災害時に住民が果たすべき役割と近隣住民どうしの連携による活動が必要とされていることを学ぶ。また、円滑な連携を可能にするための日ごろからの交流のあり方を学ぶ。	10		
昼休み	12:00～13:00	—						60	60	—
3限目	13:00～14:20	避難対応の手がかり	1	(ふりかえり)	1	避難判断・対応の検討	研修を通じて得た知識をもとに、自分の地域において、どのような状況になったら避難判断をし、どのような対応をするか検討整理する。	50	80	
					2	発表・意見交換会	検討内容の発表と全体での意見交換を行う	30		
閉講	14:20～14:30	閉講式	1	—	1	(受講証明書授与)		5	10	
					2	閉講挨拶・連絡事項	—	5		

自主防災組織のリーダー育成研修プログラム例（素案） ～ リーダー向け基礎知識編＋避難行動要支援者対策編～

【本研修プログラムのねらい】

- 本研修プログラムは、自主防災組織のリーダーを対象とした教育・訓練カリキュラムの学習項目から、結成しはじめの段階や長期にわたり実質的な活動が行われていない自主防災組織のリーダー又はリーダーとなろうとする方を念頭に、必要と考えられる学習項目を選定・再編し、2日間の研修プログラムとして作成したものである。
- 1日目に実施する「リーダー向け基礎知識編」は、地域で自主防災活動に取り組むに際して最低限必要と考えられる基礎的な知識を学習することをねらいとして作成したものである。
- 2日目の「避難行動要支援者対策編」は、高齢者や障害者などの避難支援を要する住民が多数犠牲となった平成23年の東日本大震災の教訓を踏まえ、平成25年の災害対策基本法の改正により避難行動要支援者の把握・名簿作成が市町村に義務付けられるなど、避難行動要支援者対策が政府の中で重要な位置づけとなっていることから、自主防災組織など地域が主体的に高齢者や要介護者などの避難行動要支援者に対して避難行動を支援する研修プログラムとして作成したものである。

○1日目（リーダー向け基礎知識編）

ワークショップ・演習可

カリキュラム		単元	単元の学習項目 (大項目)	単元の学習項目 (中項目)	各単元の学習内容 (学習項目の概要)	所要(分)		備考	
単元	時間					詳細	計		
開講	9:15～ 9:30	オリエンテーション	1	1 挨拶		5	15		
				2 開催趣旨・スケジュール確認	研修会の開催趣旨と研修全体スケジュールを説明	10			
1限目	9:30～ 10:40	地域づくりと自主防災活動の必要性	1	1 地域を理解する	障がい者、外国人など地域で生活する多様な住民の存在を理解し、その多様性を尊重しながら互いに協力しあう地域社会を構築する必要性について学ぶ。	15	15		
				2 地域づくりと防災	自主防災活動は、例えば地域の祭りや連携した防災に関する取組や防災を核とした住みやすい地域社会を目指す各種団体との連携などにより、地域の結びつきの希薄化、地域コミュニティの脆弱化など、現代の地域社会が抱える課題を解決する糸口となるものであることを学ぶ。	15			
				1 自主防災活動の必要性	自主防災活動の必要性(自助、共助の重要性など)について学ぶ。	10			
				2 自主防災組織の役割、運営体制	地域に密着した防災組織である自主防災組織の目的、役割、組織の機能及び体制、主要な活動内容等について学ぶ。	20			
				3 地域防災を推進する主体	消防団、女性防火クラブ、民生委員・児童委員、社会福祉協議会等、地域で防災活動に携わる多様な主体の存在やその役割等について理解するとともに、それぞれの特徴や強み等を理解の上、互いに連携・協力しながら地域防災活動を進めることの重要性について学ぶ。	10			
休憩	10:40～ 10:50					10	10	-	
2限目	10:40～ 12:00	地域防災リーダーの役割	1	1 地域の防災リーダーの役割	自主防災組織の代表や代表を支え防災活動の中心となる者が組織の防災リーダーとして果たす役割、その活動内容、リーダーシップ(指導スタイル)のあり方、リーダーがその活動中に抱えるストレス等について学ぶ。	20	70	コミュニケーション上のポイントや留意点を検討・整理	
				2 地域防災を担う人材の発掘・育成	多数の住民に自主防災活動への参加を促し、活動を展開していくために、住民とのコミュニケーションの図り方(傾聴、会話、調整)や、地域の防災に関する人材の発掘方法などについて学ぶ。また、自主防災活動を長期にわたり継続していくため、次代を担うリーダーを発掘し、育成していくことの重要性について学ぶ。	35			
				3 防災と男女共同参画	実災害の事例や日常の防災活動の現状を通じ、男女共同参画の視点からの防災対策の必要性について学ぶ。また、地域防災活動における男女共同参画の視点による具体的な取組事例について学ぶ。	15			
昼休み	12:00～ 13:00					60	60	-	
3限目	13:00～ 14:10	地域の災害危険性	1	1 地域の災害危険性	自分たちの地域の地理的特性(地形(急傾斜地、低地など)、地盤の軟弱性、活断層の有無、災害危険箇所の有無)や社会的特性(木造密集地域、高層住宅立地地域、社会福祉施設所在地域等)などから、地域に潜在する災害危険性について学ぶ。	15	70	防災マップ等を活用し、地域に生じる被害をイメージ	
				2 各種災害の被害想定等	被害想定結果やハザードマップ等の活用により、自分たちの地域(まち)で発生が懸念される災害とその被害や影響について学ぶ。	45			
				3 今後発生しうる主な大規模災害	今後発生が懸念されている南海トラフ巨大地震、首都直下地震などの大規模地震や、大規模風水害、火山災害等が発生した場合に想定される被害、防災上の課題と対策について学ぶ。	10			
休憩	14:10～ 14:20					10	10	-	
4限目	14:20～ 15:00	防災力向上のための今後の取り組み	1	(ふりかえり)	1 地域で進める防災対策の立案	研修を通じて得た知識やスキルをもとに、地域の防災力を高めるためにどのような取り組みをしていくべきか検討整理し、発表する。	40	40	
-	15:00	終了	1	-	1 挨拶・連絡事項				

○2日目(避難行動要支援者対策編)

ワークショップ・演習可

カリキュラム		単元	単元の学習項目 (大項目)		単元の学習項目 (中項目)		各単元の学習内容 (学習項目の概要)	所要(分)		備考
単元	時間							詳細	計	
開講	9:25～9:30	オリエンテーション	1	—	1	スケジュール確認	本日の研修スケジュールを説明			
1限目	9:30～10:40	避難支援に必要な知識とスキル	1	発災直前・直後の対応	1	災害時にとるべき対応	地震災害や風水害等、災害発生直後から時間を追った形での行動・対応の流れ、行動する上で注意すべきことや配慮すべきことなどを学ぶ。	20	70	防災マップ等を用いて、避難先と避難経路を検討。避難行動上のポイントを整理。
					2	避難に関する情報	気象に関する予警報や緊急地震速報、避難勧告等の避難情報を入手する方法、情報の読み方、情報に基づく基本的な行動について学ぶとともに、避難に関する情報を活用するためのスキルを身につける。	20		
					3	安全な避難	安全な避難先や避難路の選定方法、避難の方法、地域における避難誘導や避難支援の方法について学ぶ。	30		
休憩	10:40～10:50	—						10	10	—
2限目	10:40～12:00	避難行動要支援者の支援体制づくり	1	発災直前・直後の対応	1	安全な避難	避難行動要支援者を含め、地域住民の安全な避難行動に必要なスキルを身につける。	30	70	要配慮者の避難支援上のポイントや留意点を検討
					2	災害発生に備えた体制の構築	要配慮者(高齢者・障がい者・乳幼児・妊婦・負傷者・外国人等)と避難行動要支援者の意味、要配慮者の特性等について学ぶ。また、災害時における要配慮者の支援の必要性、要配慮者の特性に応じた支援体制づくりの方法、配慮の方法を整理したマニュアル作成、実行性・実効性を高めるための訓練の方法について学ぶ。(避難行動要支援者への避難支援も含む。)	35		
					3	地域住民の防災活動の促進	過去の事例から、災害時に住民が果たすべき役割と近隣住民どうしの連携による活動が必要とされていることを学ぶ。また、円滑な連携を可能にするための日ごろからの交流のあり方を学ぶ。	5		
昼休み	12:00～13:00	—						60	60	—
3限目	13:00～14:20	日ごろからの体制づくり	1	(ふりかえり)	1	連携・協力体制の検討	研修を通じて得た知識を踏まえて、避難行動要支援者の支援のために、日ごろから地域のどんな人たちと連携すべきか、適切な避難支援のためにどのような準備をしておけばよいか検討整理する。	50	80	
					2	発表・意見交換会	検討内容の発表と全体での意見交換を行う	30		
閉講	14:20～14:30	閉講式	1	—	1	(受講証明書授与)		5	10	
					2	閉講挨拶・連絡事項	—	5		

**自主防災組織のリーダー育成研修プログラム例（素案） ～ 住民の自助促進編（1日開催用） ～**

**【本研修プログラムのねらい】**

- この「住民の自助促進編(1日開催用)」は、リーダーとして地域で防災活動を推進する上での必要な基礎知識全般を学習する「リーダー向け基礎知識編」と、住民の自助の取組を促進するために必要最低限の知識とスキルを身に付ける「住民の自助促進編」を1日の研修で実施できるように再編した研修プログラムである。
- 単元毎の時間は目安として示したものであり、必要に応じて延長・短縮して実施するなどして活用していただきたい。

ワークショップ・演習可

カリキュラム		単元	単元の学習項目 (大項目)		単元の学習項目 (中項目)		各単元の学習内容 (学習項目の概要)	所要(分)		備考		
単元	時間							詳細	計			
開講	9:15～9:30	オリエンテーション	1	－	1	挨拶		5	15			
					2	開催趣旨・スケジュール確認	研修会の開催趣旨と研修全体スケジュールを説明	10				
1限目	9:30～10:40	地域づくりと自主防災活動の必要性	1	地域を理解する	1	地域における多様性と共生社会	障がい者、外国人など地域で生活する多様な住民の存在を理解し、その多様性を尊重しながら互いに協力しあう地域社会を構築する必要性について学ぶ。	15	70			
					2	地域づくりと防災	自主防災活動は、例えば地域の祭りや連携した防災に関する取組や防災を核とした住みやすい地域社会を目指す各種団体との連携などにより、地域の結びつきの希薄化、地域コミュニティの脆弱化など、現代の地域社会が抱える課題を解決する糸口となるものであることを学ぶ。	15				
					2	自主防災組織概論 (一部、地域の防災リーダーの役割)	1	自主防災活動の必要性		自主防災活動の必要性(自助、共助の重要性など)について学ぶ。	10	
							2	自主防災組織の役割、運営体制		地域に密着した防災組織である自主防災組織の目的、役割、組織の機能及び体制、主要な活動内容等について学ぶ。	20	
							3	地域防災を推進する主体		消防団、女性防火クラブ、民生委員・児童委員、社会福祉協議会等、地域で防災活動に携わる多様な主体の存在やその役割等について理解するとともに、それぞれの特徴や強み等を理解の上、互いに連携・協力しながら地域防災活動を進めることの重要性について学ぶ。	10	
					休憩	10:40～10:50						
2限目	10:50～12:00	自助の重要性と災害への備え	1	地域の災害危険性と被害想定	1	地域の災害危険性	自分たちの地域の地理的特性(地形(急傾斜地、低地など)、地盤の軟弱性、活断層の有無、災害危険箇所の有無)や社会的特性(木造密集地域、高層住宅立地地域、社会福祉施設所在地域等)などから、地域に潜在する災害危険性について学ぶ。	10	70	被害想定資料等を用いて、地域に生じる被害をイメージ		
					2	各種災害の被害想定等	被害想定結果やハザードマップ等の活用により、自分たちの地域(まち)で発生が懸念される災害とその被害や影響について学ぶ。	10				
					2	災害に対する備え	1	事前の備え			非常用持出品、備蓄品などあらかじめ備えておくべきこと、家族間の連絡方法(集合場所、災害伝言ダイヤル(NTT提供)の利用方法)や避難する先など、家庭であらかじめ備えておくべきことについて学ぶ。	50
昼休み	12:00～13:00							60	60			
3限目	13:00～14:00	被害を最小限とするための取り組みと地域に対する防災知識の普及	1	災害に対する備え	1	我が家の安全対策	家具の転倒防止、食器類等の落下防止、寝室の安全対策、プロパンガスボンベ固定の補強、塀の補強、ガラスの飛散防止、消火器の定期点検など、我が家の安全性を高める方法について学ぶ。	30	70	チェックリストを用いて、我が家の防災対策状況を確認		
					2	我が家の耐震対策	耐震診断や耐震補強の必要性と簡易な診断で我が家の耐震性を確認する方法や耐震化の具体的な方法を学ぶ。	20				
					2	地域住民の防災活動の促進	1	住民の役割			過去の事例から、災害時に住民が果たすべき役割と近隣住民どうしの連携による活動が必要とされていることを学ぶ。また、円滑な連携を可能にするための日ごろからの交流のあり方を学ぶ。	5
							2	防災知識の普及・啓発			市区町村等から発行される防災啓発パンフレット等を通じて、防災知識の普及啓発活動の目的や内容について理解するとともに、地域の住民への防災知識の普及・啓発の方法(チラシの作成・配布、防災講話やワークショップの開催など)について学ぶ。	15
休憩	14:00～14:10							10	10			
4限目	14:10～15:20	自助促進のための企画	1	(ふりかえり)	1	研修の企画	研修を通じて得た知識やスキルをもとに、地域で自助の普及促進を図るための研修を企画する。	45	70			
					2	発表・意見交換会	企画内容の発表と全体での意見交換を行う	25				
閉講	15:20～15:30	閉講式	1	－	1	挨拶・連絡事項	－	5	5			





自主防災組織のリーダー育成研修プログラム例（素案） ～土砂災害警戒区域等の避難対応編（1日開催用）～

【本研修プログラムのねらい】

- この「土砂災害警戒区域等の避難編(1日開催用)」は、リーダーとして地域で防災活動を推進する上での必要な基礎知識全般を学習する「リーダー向け基礎知識編」と、地域特性に応じた実践型研修プログラムとして、土砂災害警戒区域等の地域をあげて住民の避難行動を考える「土砂災害警戒区域等の避難対応編」を1日の研修で実施できるように再編した研修プログラムである。
- 単元毎の時間は目安として示したものであり、必要に応じて延長・短縮して実施するなどして活用していただきたい。

ワークショップ・演習可

カリキュラム	単元	単元の学習項目 (大項目)	単元の学習項目 (中項目)	各単元の学習内容 (学習項目の概要)	所要(分)		備考		
					詳細	計			
開講	9:15～ 9:30	オリエンテーション	1 -	1 挨拶		5	15		
				2 開催趣旨・スケジュール確認	研修会の開催趣旨と研修全体スケジュールを説明	10			
1限目	9:30～ 10:40	地域づくりと自主防災活動の必要	1 地域を理解する	1 地域における多様性と共生社会	障がい者、外国人など地域で生活する多様な住民の存在を理解し、その多様性を尊重しながら互いに協力しあう地域社会を構築する必要性について学ぶ。	15	70		
				2 地域づくりと防災	自主防災活動は、例えば地域の祭りや連携した防災に関する取組や防災を核とした住みやすい地域社会を目指す各種団体との連携などにより、地域の結びつきの希薄化、地域コミュニティの脆弱化など、現代の地域社会が抱える課題を解決する糸口となるものであることを学ぶ。	15			
			2 自主防災組織概論 (一部、地域の防災リーダーの役割)	1 自主防災活動の必要性	自主防災活動の必要性(自助、共助の重要性など)について学ぶ。	10			
				2 自主防災組織の役割、運営体制	地域に密着した防災組織である自主防災組織の目的、役割、組織の機能及び体制、主要な活動内容等について学ぶ。	20			
				3 地域防災を推進する主体	消防団、女性防火クラブ、民生委員・児童委員、社会福祉協議会等、地域で防災活動に携わる多様な主体の存在やその役割等について理解するとともに、それぞれの特徴や強み等を理解の上、互いに連携・協力しながら地域防災活動を進めることの重要性について学ぶ。			10	
休憩	10:40～ 10:50					10	10	-	
2限目	10:40～ 12:00	地域防災リーダーの役割	1 地域の防災リーダーの役割	1 地域の防災リーダーの役割	自主防災組織の代表や代表を支え防災活動の中心となる者が組織の防災リーダーとして果たす役割、その活動内容、リーダーシップ(指導スタイル)のあり方、リーダーがその活動中に抱えるストレス等について学ぶ。	20	70	コミュニケーション上のポイントや留意点を検討・整理	
				2 地域防災を担う人材の発掘・育成	多数の住民に自主防災活動への参加を促し、活動を展開していくために、住民とのコミュニケーションの図り方(傾聴、会話、調整)や、地域の防災に関する人材の発掘方法などについて学ぶ。また、自主防災活動を長期にわたり継続していくため、次代を担うリーダーを発掘し、育成していくことの重要性について学ぶ。	35			
				3 防災と男女共同参画	実災害の事例や日常の防災活動の現状を通じ、男女共同参画の視点からの防災対策の必要性について学ぶ。また、地域防災活動における男女共同参画の視点による具体的な取組事例について学ぶ。	15			
昼休み	12:00～ 13:00					60	60	-	
3限目	13:00～ 14:10	土砂災害発生の危険性と避難	1 地域の災害危険性と被害想定	1 地域の災害危険性	自分たちの地域の地理的特性(地形(急傾斜地、低地など)、地盤の軟弱性、活断層の有無、災害危険箇所の有無)や社会的特性(木造密集地域、高層住宅立地地域、社会福祉施設所在地域等)などから、地域に潜在する災害危険性について学ぶ。	10	70	被害想定資料等を用いて、地域に生じる被害をイメージ	
				2 各種災害の被害想定等	被害想定結果やハザードマップ等の活用により、自分たちの地域(まち)で発生が懸念される災害とその被害や影響について学ぶ。	20			
			2 発災直前・直後の対応	1 災害時にとるべき対応	地震災害や風水害等、災害発生直後から時間を追った形での行動・対応の流れ、行動する上で注意すべきことや配慮すべきことなどを学ぶ。	15		防災マップ等を用いて、避難先と避難経路を検討。避難行動上のポイントを整理。	
				2 安全な避難	安全な避難先や避難路の選定方法、避難の方法、地域における避難誘導や避難支援の方法について学ぶとともに、避難行動要支援者を含め、地域住民の安全な避難行動に必要なスキルを身につける。	25			
休憩	14:10～ 14:20					10	10	-	
4限目	14:20～ 15:30	避難に関する情報の理解と避難体制の確保	1 発災直前・直後の対応	1 避難に関する情報	気象に関する予警報や緊急地震速報、避難勧告等の避難情報を入手する方法、情報の読み方、情報に基づく基本的な行動について学ぶとともに、避難に関する情報を活用するためのスキルを身につける。	30	70		
				2 情報収集・伝達	地域の災害対応に必要な情報の収集・伝達方法について学ぶとともに、情報の収集・伝達に必要なスキルを身につける。	25			
			2 災害発生に備えた体制の構築	1 情報収集・伝達のしくみづくり	災害時に地域で収集・伝達すべき情報の情報の種類や内容、災害時における課題、体制づくりの必要性について学ぶ。	10			
				3 地域住民の防災活動の促進	過去の事例から、災害時に住民が果たすべき役割と近隣住民どうしの連携による活動が必要とされていることを学ぶ。また、円滑な連携を可能にするための日ごろからの交流のあり方を学ぶ。	5			
休憩	15:30～ 15:40					10	10	-	
5限目	15:40～ 16:25	避難対応の手がかり	1 (ふりかえり)	1 避難判断・対応の検討	研修を通じて得た知識をもとに、どのような状況になったら避難判断をし、どのような対応をするか検討整理する。	45	45		
閉講	16:25～ 16:30	閉講式	1 -	1 挨拶・連絡事項	-	5	5		



**自主防災組織のリーダー育成研修プログラム例（素案） ～避難行動要支援者対策編（1日開催用）～**

**【本研修プログラムのねらい】**

- この「避難行動要支援者対策編(1日開催用)」は、リーダーとして地域で防災活動を推進する上での必要な基礎知識全般を学習する「リーダー向け基礎知識編」と、地域に居住する住民の特性に応じた実践型研修プログラムとして、高齢者介護施設などが多く存在する地域において、災害の際の避難行動要支援者に対する避難支援対策を考える「避難行動要支援者対策編」を1日の研修で実施できるように再編した研修プログラムである。
- 単元毎の時間は目安として示したものであり、必要に応じて延長・短縮して実施するなどして活用していただきたい。

ワークショップ・演習可

カリキュラム		単元	単元の学習項目 (大項目)	単元の学習項目 (中項目)	各単元の学習内容 (学習項目の概要)	所要(分)		備考	
単元	時間					詳細	計		
開講	9:15～ 9:30	オリエンテーション	1	1 挨拶		5	15		
				2 開催趣旨・スケジュール確認	研修会の開催趣旨と研修全体スケジュールを説明	10			
1限目	9:30～ 10:40	地域づくりと自主防災活動の必要	1	1 地域を理解する	1 地域における多様性と共生社会	障がい者、外国人など地域で生活する多様な住民の存在を理解し、その多様性を尊重しながら互いに協力しあう地域社会を構築する必要性について学ぶ。	15	70	
				2 地域づくりと防災	自主防災活動は、例えば地域の祭りや連携した防災に関する取組や防災を核とした住みやすい地域社会を目指す各種団体との連携などにより、地域の結びつきの希薄化、地域コミュニティの脆弱化など、現代の地域社会が抱える課題を解決する糸口となるものであることを学ぶ。	15			
			2	1 自主防災活動の必要性	自主防災活動の必要性(自助、共助の重要性など)について学ぶ。	10			
				2 自主防災組織の役割、運営体制	地域に密着した防災組織である自主防災組織の目的、役割、組織の機能及び体制、主要な活動内容等について学ぶ。	20			
				3 地域防災を推進する主体	消防団、女性防火クラブ、民生委員・児童委員、社会福祉協議会等、地域で防災活動に携わる多様な主体の存在やその役割等について理解するとともに、それぞれの特徴や強み等を理解の上、互いに連携・協力しながら地域防災活動を進めることの重要性について学ぶ。	10			
			休憩	10:40～ 10:50					
2限目	10:40～ 12:00	地域防災リーダーの役割	1	1 地域の防災リーダーの役割	自主防災組織の代表や代表を支え防災活動の中心となる者が組織の防災リーダーとして果たす役割、その活動内容、リーダーシップ(指導スタイル)のあり方、リーダーがその活動中に抱えるストレス等について学ぶ。	20	70	コミュニケーション上のポイントや留意点を検討・整理	
				2 地域防災を担う人材の発掘・育成	多数の住民に自主防災活動への参加を促し、活動を展開していくために、住民とのコミュニケーションの図り方(傾聴、会話、調整)や、地域の防災に関する人材の発掘方法などについて学ぶ。また、自主防災活動を長期にわたり継続していくため、次代を担うリーダーを発掘し、育成していくことの重要性について学ぶ。	35			
				3 防災と男女共同参画	実災害の事例や日常の防災活動の現状を通じ、男女共同参画の視点からの防災対策の必要性について学ぶ。また、地域防災活動における男女共同参画の視点による具体的な取組事例について学ぶ。	15			
昼休み	12:00～ 13:00					60	60	-	
3限目	13:00～ 14:10	地域の危険と避難行動要支援者の支援体制づくり	1	1 地域の災害危険性と被害想定	自分たちの地域の地理的特性(地形(急傾斜地、低地など)、地盤の軟弱性、活断層の有無、災害危険箇所の有無)や社会的特性(木造密集地域、高層住宅立地地域、社会福祉施設所在地域等)などから、地域に潜在する災害危険性について学ぶ。	10	75	被害想定資料等を用いて、地域に生じる被害をイメージ	
				2 各種災害の被害想定等	被害想定結果やハザードマップ等の活用により、自分たちの地域(まち)で発生が懸念される災害とその被害や影響について学ぶ。	20			
			2	1 災害発生に備えた体制の構築	要配慮者(高齢者・障がい者・乳幼児・妊婦・負傷者・外国人等)と避難行動要支援者の意味、要配慮者の特性等について学ぶ。また、災害時における要配慮者の支援の必要性、要配慮者の特性に応じた支援体制づくりの方法、配慮の方法を整理したマニュアル作成、実行性・実効性を高めるための訓練の方法について学ぶ。(避難行動要支援者への避難支援も含む。)	45			
休憩	14:10～ 14:20					10	10	-	
4限目	14:20～ 15:30	避難支援に必要な知識とスキル	1	1 災害時にとるべき対応	地震災害や風水害等、災害発生直後から時間を追った形での行動・対応の流れ、行動する上で注意すべきことや配慮すべきことなどを学ぶ。	20	75	防災マップ等を用いて、避難先と避難経路を検討。避難行動上のポイントを整理。 要配慮者の避難支援上のポイントや留意点を検討	
				2 安全な避難	安全な避難先や避難路の選定方法、避難の方法、地域における避難誘導や避難支援の方法について学ぶ。	20			
				3 安全な避難	避難行動要支援者を含め、地域住民の安全な避難行動に必要なスキルを身につける。	30			
			2	1 住民の役割	過去の事例から、災害時に住民が果たすべき役割と近隣住民どうしの連携による活動が必要とされていることを学ぶ。また、円滑な連携を可能にするための日ごろからの交流のあり方を学ぶ。	5			
休憩	15:30～ 15:40					10	10	-	
5限目	15:40～ 16:25	日ごろからの体制づくり	1 (ふりかえり)	1 連携・協力体制の検討	研修を通じて得た知識を踏まえて、避難行動要支援者の支援のために、日ごろから地域のどんな人たちと連携すべきか、適切な避難支援のためにどのような準備をしておけばよいか検討整理する。	45	45		
閉講	16:25～ 16:30	閉講式	1	1 挨拶・連絡事項		5	5		

